

様式第1号（第6条関係）

会 議 録

| | |
|---------------------|---|
| 会 議 の 名 称 | 令和元年度第3回坂戸市児童福祉審議会 |
| 開 催 日 時 | 令和元年11月15日（金） 午前10時00分 開会 午前11時50分 閉会 |
| 開 催 場 所 | 坂戸、鶴ヶ島上下水道合同庁舎A・B会議室 |
| 議長（委員長・ 会長）の氏名 | 竹下 玲 |
| 出席者（委員） の氏名・出席者数 | 横山 静香、町田 満、和田 幸江、竹下 玲、西村 早苗、 本間 絹江、高橋 公子、落合 勇、榛原 美枝子、小川 君子 計10名 |
| 欠席者（委員） の氏名・欠席者数 | 新井 由基夫、鴨志田 加奈、村居 江里、渡邊 久美子 計4名 |
| 事務局職員の 職・氏名 | 福祉部長 市原 真一 福祉部次長兼子育て支援課長 柴崎 慎二 福祉部副参与兼保育課長 井上 晋 子育て支援課副課長 山地 哲也、同児童担当課長補佐 関根 則子、同児童担当係長 石川 学、同支援担当係長 山崎 卓也、同支援担当主任 橋本 拓也 保育課保育担当課長補佐 宮崎 格、同係長 榊田 英幸、同係長 小澤 亜由実 地域計画（株）企画計画室研究員 石原 拓哉 |
| 会 議 次 第 | 1 開 会 2 会長挨拶 3 議 事 （1）子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査の結果（完成版）について （2）第2期坂戸市子ども・子育て支援事業計画（素案）について （3）パブリックコメントの実施について （4）その他 4 閉 会 |

| | |
|---------|---|
| 配 布 資 料 | <ul style="list-style-type: none">○次第○第2期「坂戸市子ども・子育て支援事業計画」策定のためのアンケート調査集計結果【完成版】○第2期坂戸市子ども・子育て支援事業計画（素案）○計画期間における年齢各歳別人口推計○第2期坂戸市子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民コメントの実施について |
|---------|---|

| 議 事 の 経 過 | |
|-----------|---|
| 発 言 者 | 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
| 進行（事務局） | 1 開会 |
| | 2 会長挨拶 |
| 進行（会長） | 3 議事 |
| 事務局 | <p>（1）子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査の結果（完成版）について</p> <p>※資料（第2期「坂戸市子ども・子育て支援事業計画」策定のためのアンケート調査集計結果【完成版】）に基づき説明</p> <p>意見なし</p> |
| 事務局 | <p>（2）第2期坂戸市子ども・子育て支援事業計画（素案）について</p> <p>※資料（第2期坂戸市子ども・子育て支援事業計画（素案）、計画期間における年齢各歳別人口推計）に基づき説明</p> |
| 委員 | <p>ニーズ調査の中には、就学前児童の定期的な教育・保育事業の利用意向を確認する選択肢に様々なサービス名（家庭的保育、事業所内保育施設等）があったが、計画内にある「量の見込みと提供体制の確保方策」の中に入っていない項目がある理由を教えていただきたい。</p> |
| 事務局 | <p>当該ニーズ調査は、国から示されたひな形をベースとして作成したものであるため、市のサービスとして実施していない項目もある。今後、市で実施できるような環境が整った場合は、実施に向けて積極的に検討する。</p> |
| 委員 | <p>計画内の「現状分析と主な課題」の中に、関係機関等との連携強化がうたわれているが、今後も市から関係機関や団体等への支援を積極的に行っていただきたい。</p> |
| 事務局 | <p>今後も関係機関等と様々な連携を深めていきながら、支援をしていきたいと考えている。</p> |

| | |
|-----|---|
| 委員 | 坂戸市での待機児童に関する問題について伺いたい。 |
| 事務局 | 平成30年度の実績を見ると、0～2歳児の部分で不足が生じている。 量の見込みについては、利用見込みの最大値で考え、この数値から今後の確保方策の整備を図っていく。 |
| 委員 | 外国籍の方の教育支援が計画内に盛り込まれているか。 |
| 事務局 | 具体的な内容は、この計画に盛り込んでいない。 ただ、保育所等の入所の選考に関しては、国籍に関係なく、平等に親の就労状態等によって入所の選考を行っている。また、言葉の問題が1番大きいと考えられることから、音声翻訳器の導入を検討している。 |
| 委員 | 関係機関と連携し、日本語の教師を配備するような施策を実施しているか。 |
| 事務局 | 保育の現場では、言葉の問題により、特に外国籍の保護者の方とのコミュニケーションを図ることが難しい場面が多くある。 そのため、保育や教育の関係課は勿論のこと、他部署においては日本語教室を実施する等、市全体でこの問題の解消が図れるよう推進していく。 |
| 委員 | 今後の支援については、より地域に入り込んだ細かい支援や質を重視した支援をお願いしたい。 |
| 事務局 | 承知した。 (3) パブリックコメントの実施について ※資料(第2期坂戸市子ども・子育て支援事業計画策定に係る市民コメントの実施について)に基づき説明 意見なし |
| 事務局 | (4) その他 ※その他、委員から意見等があるかの確認 |

| | |
|-----|--------------|
| 事務局 | 意見なし 4 閉会 |
|-----|--------------|